

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.



## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2000175268 A**(43) Date of publication of application: **23.06.00**

(51) Int. Cl.

**H04Q 7/38****G06F 19/00****H04M 11/00****H04M 15/00**(21) Application number: **10376070**(22) Date of filing: **02.12.98**(71) Applicant: **MIYAGI TAKAMI**(72) Inventor: **MIYAGI TAKAMI  
SUGINO MASAO**

(54) **ELECTRONIC MONEY UNIT REALIZED IN  
PORTABLE TELEPHONE SET INCORPORATING  
OPTIONALLY REWRITABLE AND WRITABLE  
STORAGE DEVICE**

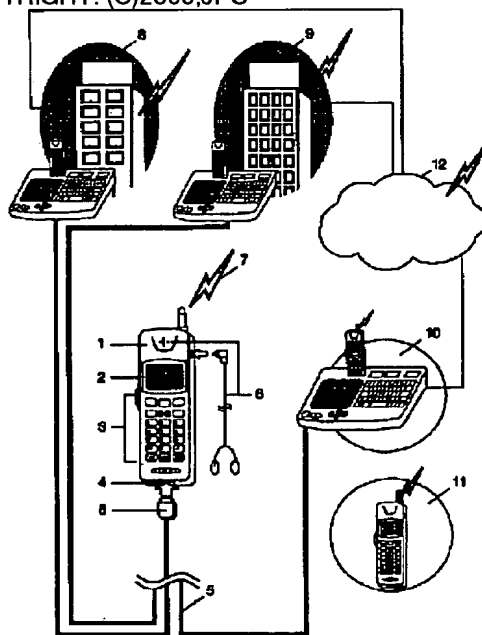
(57) Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To settle an account as an electronic money unit in addition to substantial functions a portable telephone set incorporating a storage device, which is optionally initialized, to which monetary information is written, appended and rewritten and from which the stored monetary information is written out.

**SOLUTION:** A portable telephone set main body 1 uses a built-in storage device that is optionally initialized, to which monetary information is written, appended and rewritten and from which the stored monetary information is written out, and a radiotelephone communication function 7 so as to send/receive the electronic monetary information. That is, the set main body 1 is connected to a device 10 that is designated by a financial agency and be able to send/receive electronic monetary information and accesses the financial agency, companies and shops via the device 10 through wired/wireless channels. Through the communication, the set main body 1 conducts transmission/reception (8) of the electronic monetary information in the case of transaction or

purchase of articles, accounting job and payment (9), and computerized account settlement (10). Thus, the user can make the computerized account settlement at a visit place without carrying an IC card or a pre-paid card.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO



(11)特許出願公開番号

**特開2000-175268**

(P2000-175268A)

(43)公開日 平成12年6月23日(2000.6.23)

(51) Int.Cl.?

**識別記号**

FI

テマコート・(参考)

H04Q 7/38

H04B 7/26

**109M 5B055**

**G O 6 F 19/00**

H0 4M 11/00

**3 0 2      5 K 0 2 5**

**H04M 11/00**

**3 0 2**

15/00

**E 5K067**

15/00

G O 6 F 15/30

**C 5K101**

審査請求 未請求 請求項の数5 書面 (全 6 頁)

(21)出題番号

特種平10-376070

(71)出願人 598155988

宮城 孝実

千葉県柏市泉町7番4号

〈22〉出願目

平成10年12月2日(1998.12.2)

(72)発明者 宮城 孝実

千葉県柏市泉町7番4号

(72)発明者 杉野 正夫

埼玉県川口市川口2丁目17番48号 グリン

ビュー第三川口803

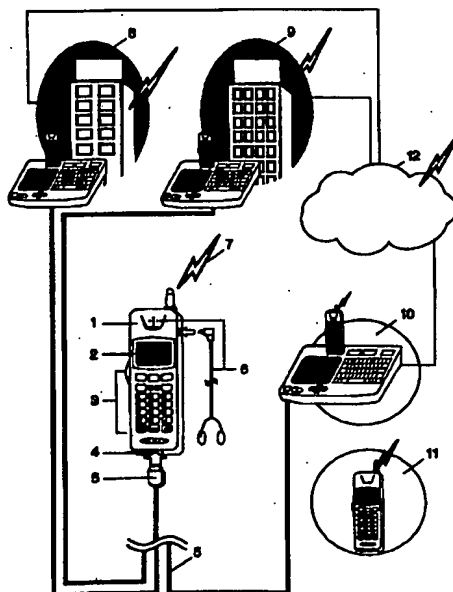
**最終頁に続く**

(54)【発明の名称】 携帯用の電話機器に任意な再書き込み及び、書き出し可能な記憶装置を内蔵した電子マネー機器

(57) 【要約】

【課題】 電子マネー決済を行う場合、電子マネー専用のＩＣカード又は、使用用途別に限定された様々な種類のプリペイドカードを購入し、持参しなければならなかったが、電話機器の機能を残したまま携帯用の電話機器内に電子マネー情報を任意に記憶及び、書き出しできる電子マネー財布・電子通帳機能を持たせることで、電子マネー専用のＩＣカード又は、使用用途別の様々な種類のプリペイドカードを購入、持参せずに外出先で手軽に電話機器の有する通信機能を使い入金、支払い、預金残高や支払い明細照会などの電子マネー決済をできるようにする。

【解決手段】 携帯用の電話機器の中に任意に再書き込み及び、書き出し可能な記憶装置を内蔵し、電子マネー情報が内蔵された記憶装置に任意に初期化、新規書き込み、再書き込み、追加書き込みができる。記憶された電子マネー情報を書き出すことにより、携帯用の電話機器本来の機能の他に携帯型の電子マネー機器の機能を持たせた。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 携帯用の電話機器の中に任意に再書き込み及び、書き出し可能な記憶装置を内蔵して金銭情報を内蔵された記憶装置に任意に初期化、新規書き込み、再書き込み、追加書き込みができる。記憶された金銭情報を書き出すことにより、携帯用の電話機器本来の機能の他に携帯用の電子マネー機器として電子決済をすることができる。

【請求項2】 金融機関の口座での預け入れ又は、引き出された金銭は、携帯用の電話機器が持つデジタル情報受け渡し用装置を利用して、金融機関が指定する電子マネー情報の受け渡しが可能な機器と携帯用の電話機器を電子マネー情報の受け渡しが可能な接続ケーブル又は、直接でつなぎ携帯用の電話機器に内蔵された記憶装置に電子マネーとして記憶することができる。携帯用の電話機器の持つ通信機能によりデジタル情報を受け渡すことができる。この通信によるデジタル情報受け渡し機能を使い、外出先から口座のある金融機関にアクセスして金融機関の口座での預け入れ又は、引き出しを行うことができる。その金銭取引は、携帯用の電話機器に内蔵された記憶装置に電子マネーとして記憶することができる。

【請求項3】 携帯用の電話機器に記憶された電子マネー情報は任意に初期化、新規書き込み、再書き込み、追加書き込み、書き出すことができるため、預け入れ及び、引き出しが行われた時点の電子マネー情報の明細も記憶できる。携帯用の電話機器が保有する表示装置、スピーカー（含むイヤホン）及び、操作機能を利用して、記憶された電子マネーの残高や支払い明細の照会を確認する機能を持つことができる。又、携帯用の電話機器が保有する通信、表示装置、スピーカー（含むイヤホン）及び、操作機能を利用して、外出先で口座のある金融機関にアクセスして、口座の残高や支払い明細の照会を確認できる携帯型の預金通帳としての機能を持つことができる。

【請求項4】 携帯用の電話機器の持つ通信機能によりデジタル情報を受け渡すことができる。この通信によるデジタル情報受け渡し機能を使い、外出先から指定する金融機関へ携帯用の電話機器に記憶された電子マネーを通信を利用して、振り込み及び、指定の口座への支払いができる。又、携帯用の電話機器に内蔵された記憶装置に入金された電子マネーは、携帯用の電話機器間での通信による電子決済をすることができる。又、携帯用の電話機器が持つデジタル情報受け渡し用装置を利用して、金融機関が指定した電子マネー情報の受け渡しが可能な機器と携帯用の電話機器を電子マネー情報の受け渡しが可能な接続ケーブル又は、直接でつないで指定する金融機関へ携帯用の電話機器に記憶された電子マネーの振り込み及び、指定の口座への支払いができる。金融機関が指定した電子マネー情報の受け渡しが可能な機器を会社、商店に設置することにより、携帯用の電話機器に記憶さ

れた電子マネーでの支払いができる。又、会社間取引での出入金などの経理業務もできる。これらの操作は、携帯用の電話機器が保有する表示装置、スピーカー（含むイヤホン）及び、操作機能を利用して行うことができる。

【請求項5】 携帯用の電話機器は、他人の無断使用防止のため、暗証番号を登録しダイヤルロックする機能を有している。この機能を利用して電子マネー情報の秘密漏洩や第三者による不正使用を防止するためのセキュリティ機能を持たせることができる。又、携帯用の電話機器は数字情報の他にも映像、画像、動画、文字、記号、音声の各情報の入力及び、出力機能を持っている。これらを組み合わせて更に安全性の高いセキュリティ情報にすることにより、電子マネー情報の秘密漏洩や第三者による不正使用を防止することができる。携帯用の電話機器側と金融機関側の双方にセキュリティ情報を持たせ、双方のセキュリティ情報を認識して合意が取れない場合、電子マネーによる取引ができない機能を持たせることができる。携帯用の電話機器側のセキュリティ情報の認識操作は、携帯電話機が保有する表示装置、スピーカー（含むイヤホン）及び、操作機能を利用する。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、携帯用の電話機器に内蔵された記憶装置に任意に電子マネー情報を初期化、新規書き込み、再書き込み、追加書き込みができ、その電子マネー情報を任意に書き出すことができるため、携帯用の電話機器本来の機能の他に電子マネー機器としての機能を有し、電子決済をすることができる。

## 【0002】

【従来の技術】 電子マネーでの決済を行う場合、電子マネー専用のＩＣカードを購入し、金融機関で電子マネー情報を入力して携帯しなければならなかった。又は、使用用途別に限定された様々な種類のプリペイドカードを購入し、携帯しなければならなかった。

【0003】 従来の携帯電話機は、電子マネー情報の受け渡しを任意にすることができなかった。従って、携帯用の電話機器が持つデジタル情報受け渡し用装置を利用して、金融機関が指定するデジタルデータ受け渡しが可能な機器とつなぎ電子マネー情報を得ることができなかった。携帯用の電話機器の持つ通信機能を使って外出先から金融機関などの電子マネー情報を保有するデジタル機器に電話でアクセスして電子マネー情報を得ることができなかった。又、携帯用の電話機器に内蔵された記憶装置に入金された電子マネーは、携帯用の電話機器間での通信による電子決済をすることができなかった。

【0004】 従来の携帯電話機は、転送された電子マネー情報を任意に初期化、新規書き込み、再書き込み、追加書き込み、書き出しなどができなかったため、電子マ

ネーの途中結果情報がセーブできず、電子マネー情報による新規入金、追加入金及び、支払いなどの電子決済をすることができなかった。又、携帯用の電話機器が持つデジタル情報受け渡し用装置を利用して、金融機関が指定するデジタル情報受け渡しが可能な機器とつないでの電子決済や、電話機器の持つリアルタイムなデジタル情報の受け渡し通信機能を利用して、電子決済をすることができなかった。

【0005】電子マネー専用のICカード（一部のセキュリティ付きICカードは除く）や使用用途別の様々なプリペイドカードには、他人の不正使用の防御手段として暗証番号などのセキュリティがなかったため、紛失した場合、第三者にでも不正使用される恐れがある。又、テレカ、ハイウェーカード、オレンジカード、メトロカードなど従来のプリペイドカードは、磁気カードであるため偽造が容易であった。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】通常、外出先で電子マネーによる支払いをする場合、電子マネー専用のICカードや使用用途が限定された様々な種類のプリペイドカードを購入し、持参しなければならなかったが、携帯用の電話機器に電子決済の機能を持たせる事により、これらを持参せずに電子決済ができるようにする。

【0007】従来の携帯用の電話機器は、電子マネー情報を任意に初期化、新規書き込み、再書き込み、追加書き込み、書き出しができる記憶装置が内蔵されていなかったため、受け渡された電子マネー情報を任意に記憶させることができなかった。又、記憶された電子マネー情報を任意に受け渡すことができなかった。

【0008】従来の携帯用の電話機器単体では、電話機器の持つ通信機能や携帯用の電話機器が持つデジタル情報受け渡し用装置を利用して、外出先で金融機関にアクセスし、電子マネー情報を任意に受け取る（入金）ことや引き渡し（支払）することができなかった。

【0009】

【課題を解決するための手段】記憶装置の技術進歩はめざましく、記憶装置は小型化、大容量化及び、安価となり、携帯用の電話機器のサイズを大巾に大きくすることなく記憶装置を内蔵できる。記憶装置は、記憶容量が大きくなり電子マネー情報を記憶するのに十分な容量を持っている。又、記憶装置は、安価に量産できるためコスト面でも商品化できるようになった。

【0010】携帯用の電話機器が持つデジタル情報受け渡し用装置を利用して、パーソナルコンピュータ機器と携帯用の電話機器を接続しデジタル情報を受け渡すことができる。又、市販されているメディアからパーソナルコンピュータ機器を経由してデジタル情報の受け渡しができる。電話機器の持つ通信機能を利用してデジタル情報を受け渡すことができる。これらの機能を利用することにより、電子マネー情報の受け渡しも可能である。電

子マネー情報による電子決済時の不正使用保護を目的とするために、金融機関独自のセキュリティ情報や機能を組み込んだ専用の受け渡し機器を使用することもできる。

【0011】携帯用の電話機器には、映像、画像、動画、文字、数字、記号、音声の各情報をディスプレイするための表示装置、スピーカー（含むイヤホン）及び、操作機能装置を有している。携帯電話機が保有する表示装置、スピーカー（含むイヤホン）及び、操作機能を利用して電子決済の操作をすることができる。

【0012】最近の携帯用の電話機器は、他人の無断使用防止のため、暗証番号を登録しダイヤルロックする機能を有している。この機能を利用して電子マネー情報による電子決済時の不正使用保護のためのセキュリティ機能を持たせることができる。又、携帯用の電話機器は数字情報の他にも映像、画像、動画、文字、記号、音声の各情報の入力及び、出力する機能を持っている。これらを組み合わせて更に安全性の高いセキュリティ情報を活用することにより、電子マネー情報偽造の防衛手段や他人の不正使用を防止することができる。

【0013】電話機器の持つ通信機能を利用すれば、デジタルデータをリアルタイムに受け渡すことができる。従って外出先から金融機関にアクセスし、金融機関へ預け入れた預金の残高や支払いの照会など、預金通帳としての機能を待たせることができる。

【0014】携帯用の電話機器に内蔵された記憶装置は、任意に初期化、新規書き込み、再書き込み、追加書き込み、書き出しができるため、記憶された電子マネー情報の途中結果情報もセーブでき、残高や支払い明細の照会の確認をすることができる。

【0015】

【発明の実施の形態】本発明を図面に基づき説明する。図1は任意に初期化、新規書き込み、再書き込み、追加書き込み、書き出しができる記憶装置が内蔵された携帯用の電話機器の概略図を示す。1は本体、2は表示装置、3は各種操作装置、4はデジタル情報受け渡し用装置、5はデジタル情報の受け渡しが転送可能な接続ケーブル、6はスピーカー（含むイヤホン）である。

【0016】図1の2は、映像、画像、動画、文字、数字、記号、音声の各情報をディスプレイするための表示装置で電話機能使用時及び、電子マネーによる電子決済時に使用する。3の各種操作装置は、電話機能操作時及び、電子決済操作時に使用する。4のデジタル情報受け渡し用装置は、一般的な携帯用の電話機器にあるコネクタでパーソナルコンピュータ機器とつないで、パソコン通信などのデジタル情報の受け渡し時に使用及び、金融機関が指定する電子マネー情報の受け渡しが可能な機器とつなぎ電子決済時に使用する。5のコードは、一般的な携帯用の電話機器のオプションとして市販されているデジタル情報の受け渡しが可能なコネクタ付き接

続ケーブルであり、この接続ケーブルを利用してパーソナルコンピュータ機器とつないで、パソコン通信などのデジタル情報の受け渡し時に使用及び、金融機関が指定する電子マネー情報の受け渡し可能な機器とつなぎ電子決済時に使用する。6は一般的な携帯用の電話機器にあるスピーカー（含むイヤホン）で、電話通信時の音声聞くためと、電子決済時の確認音として利用する。

【0017】図2は、本発明である任意に初期化、新規書き込み、再書き込み、追加書き込み、書き出しができる記憶装置が内蔵された携帯用の電話機器で通信を利用した電子マネー情報の受け渡しを行う概略図である。

【0018】図2の1、2、3、4、5、6は、図1の説明の通りで、図2の7は、電話機能及び、電子マネー情報の受け渡しを携帯用の電話機器が持つ無線の電話通信機能を使い行う意味のマークである。8は、金融機関と無線、有線での電話通信機能を使用又は、携帯用の電話機器を10の金融機関が指定する電子マネー情報の受け渡しができる機器とつなぎ電子マネー情報の受け渡しによる電子決済を行う。9は、10の金融機関が指定する電子マネー情報の受け渡しができる機器が設置された会社や商店で無線、有線での電話通信機能を使用又は、10の金融機関が指定する電子マネー情報の受け渡しができる機器とつなぎ取引や物品購入時に電子マネー情報の受け渡しによる電子決済を行う。10は、金融機関が指定する電子マネー情報の受け渡しができる機器で、電話機器が持つ無線、有線の電話通信機能及び、直接又は、接続ケーブルでつなぎ電子マネー情報の受け渡しができる。11は携帯用の電話機器間で電話機器の持つ通信機能を利用して、離れた相手と電子決済を行う。12はインターネット通信や有線、無線の電話通信インフラである。

【0019】

【発明の効果】本発明は、携帯用の電話機器に電子マネー情報による電子決済機能を持たせたため電子マネー専用のICカードを持たずに同様の利用ができる。又、使用用途別に限定された様々な種類のプリペイドカードを購入して持参しなくとも電子決済ができるなど、携帯型の電話機器と携帯型の電子マネー機器として二つの機能を外出先で利用することができる。

【0020】本発明は、任意に電子マネー情報を初期化、新規書き込み、再書き込み、追加書き込み、書き出しができるため、プリペイドカードのように使い捨てではなく何回も利用することができる。又、電子決済の途中結果がセーブできるので残高や支払い明細を照会し確認することができる。

【0021】本発明は、携帯用の電話機器が持つ映像、画像、動画、文字、数字、記号、音声の各情報をディスプレイするための表示装置、スピーカー（含むイヤホン）及び、操作機能装置を利用して電子決済の操作をすることができる。

【0022】本発明は、携帯用の電話機器が持つ通信機能を利用して、外出先から口座のある金融機関にアクセスし、預け入れた預金の残高や支払いの照会など、預金通帳としての機能を待たせることができる。

【0023】本発明は、電話機器の持つ通信機能により電子マネー情報を受け渡すことができるため。外出先から金融機関に電話でアクセスして電子マネー情報の入金や支払いなど電子マネー決済をすることができる。又、携帯用の電話機器に内蔵された記憶装置に入金された電子マネーは、携帯用の電話機器間での通信による電子決済をすることができる。電話機器の持つ通信機能を利用して金融機関が指定する電子マネー情報の受け渡し可能な機器が設置された会社及び、商店での取引時や物品購入時に電子マネー情報の受け渡しによる電子決済ができる。

【0024】本発明は、携帯用の電話機器が持つデジタル情報受け渡し用装置を利用して、金融機関が指定する電子マネー情報の受け渡し可能な機器と携帯用の電話機器をつなぎ電子マネー情報を受け渡すことができる。

【0025】本発明は、携帯用の電話機器の持つ暗証番号を登録しダイヤルロックする機能を利用して、他人による電子マネーの不正使用保護のためのセキュリティ機能を持たせることができる。又、携帯用の電話機器は数字情報の他にも映像、画像、動画、文字、記号、音声の各情報の入力及び、出力する機能を持っている。これらを組み合わせて更に安全性の高いセキュリティ情報にすることにより、電子マネー情報の偽造や電子決済をできなくすることができる。携帯用の電話機器側と金融機関側の双方にセキュリティ情報を持たせ合意が取れない場合、電子マネー情報の秘密漏洩や他人による不正使用を防止することができる。

【0026】インターネットショッピングでクレジットカードの番号を送り支払いする場合、ハッカーなどに番号を盗まれる恐れがあるが、携帯用の電話機器の持つ通信機能を使用して、携帯用の電話機器内に記憶された電子マネーでの支払いであれば安全性は高い。

【0027】携帯用の電話機器内に記憶された電子マネーでの支払いであれば、24時間営業のコンビニなどでの金銭の防犯や管理で現金を扱うより安全である。又、自動車など高額な買い物や商取引をする時、多額の現金や高額な小切手を持参せずに携帯用の電話機器内に記憶された電子マネーで支払うことができるし、電子マネーを受け取った販売店が指定の金融機関に通信により照会することもできるので金銭の防犯や管理面で安全性が高くなる。

【図面の簡単な説明】

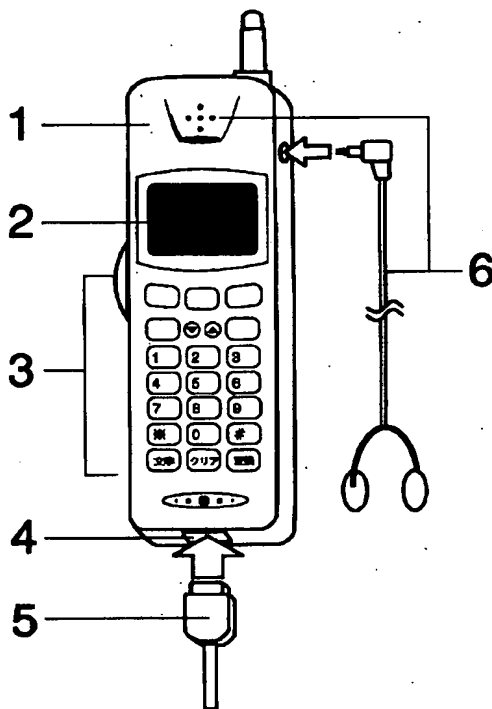
【図1】本発明の任意に電子マネー情報を初期化、新規書き込み、再書き込み、追加書き込み、書き出しができる記憶装置が内蔵された携帯用の電話機器の概略図である。

【図2】本発明の携帯用の電話機器で電子マネー情報の受け渡しによる電子決済方法を説明した図で、携帯用の電話機器の有する通信及び、携帯用の電話機器の有するデジタル情報受け渡し装置と電子マネー情報の受け渡しができる機器を利用して、金融機関とアクセスしての電子マネーの出入金、会社や商店とアクセスしての経理業務や支払い、携帯用の電話機器間での通信による電子決済などを説明するための図である。

【符号の説明】

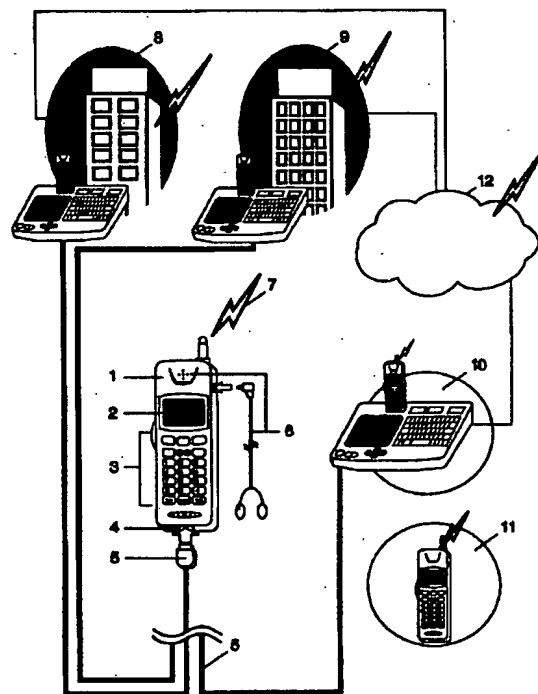
- 1 電子マネー決済ができる携帯用の電話機器本体
- 2 表示装置
- 3 各種操作装置
- 4 デジタル情報受け渡し用コネクタース

【図1】



- 5 デジタル情報受け渡し可能なコネクタ付き接続ケーブル
- 6 スピーカー及び、イヤホン
- 7 電子マネー情報受け渡しを無線の電話通信機能を用いるマーク
- 8 金融機関とアクセスし電子マネー情報の受け渡し
- 9 会社や商店とアクセスし電子マネー情報の経理業務や支払い
- 10 電子マネー情報の受け渡しができる機器との電子マネー情報の受け渡し
- 11 携帯用の電話機器間での通信による電子決済
- 12 通信ネットワーク

【図2】



## フロントページの続き

Fターム(参考) 5B055 BB12 CB03 CB08 CB10 EE12  
JJ05 LL07 PA01 PA11 PA22  
5K025 AA05 BB10 DD06 EE25 JJ10  
JJ18  
5K067 AA33 AA34 AA35 BB04 DD17  
FF02 FF22 GG01 GG11 HH07  
HH23 HH36 KK15  
5K101 KK02 LL12 NN18 NN21 NN48